

現代文編では、高校生に身近なテーマの作品を読めるように教材を増やし、表現編では、実践的な内容で教材に即して能力向上がはかれるようにしました。



- 1 現代文入門
ア 羅生門 芥川龍之介
新 指 鷺沢崩
- 2 小説(1)
ア 羅生門 芥川龍之介
新 指 鷺沢崩
- 3 評論(1)
ア 水の東西 山崎正和
新 美意識は資源である 佐藤信夫
新 陰翳礼讃 原研哉

どうすれば虹の根もとに行けるか・黒井千次
本の読み方評論の窓 平野啓一郎
待つことの形 蜂飼耳

言葉のi1 状況に応じた言葉の使い方

言葉のi2 つながりを持たせる言葉

- 1 現代文入門
冒頭は、高校国語への入門单元とし、随想と評論を配置しました。

● どうすれば虹の根もとに行けるか・高校生活のスタートにあたり工一ルとなるような明るい希望のある文章を冒頭教材に選びました。

★ 本の読み方・大切なのは、立ち止まって、「どうして?」と考えてみることだと、スロー・リーディングの楽しみを説く、短い読書論です。高校生活の初めに読むことに意義があります。

★ 待つことの形・言葉になる以前の状態の中にこそ、言葉より、いつそ大事なことがある。詩人はそれが言葉として出現するのを待っています。

- 2 小説(1)
ア 水の東西 山崎正和
新 美意識は資源である 佐藤信夫
新 陰翳礼讃 原研哉

評論の窓 谷崎潤一郎

比較文化 認識・トリック 文化・環境 文化・伝統

4 詩 舊約翰 三好達治
サーカス 中原中也
1月十七日 晓闇 詩の窓 杉山平一
I was born 吉野弘
ふと 吉原幸子
青い空に 詩の窓 和合亮一

5 評論(2)
ア マンモスの歩いた道 池内了
マルジャーナの知恵 岩井克人
失敗に学ぶ 畑村洋太郎

6 小説(2)
ア 水かまきり 川上弘美
海の方の子 山田詠美
鏡 村上春樹

表現 意見文を書く
ディベート

7 短歌・俳句 白鳥は哀しからずや (短歌十六首)
正岡子規・与謝野晶子・石川啄木・斎藤茂吉・
若山牧水・齊藤史 寺山修司・春日井建

8 評論(3)
ア 「この味がいいね」 短歌の窓 林野浩一・穂村弘・俵万智・小池光・
荻原裕幸・水原紫苑・加藤治郎・池田はるみ
万緑の中や (俳句十六句)
高浜虚子・飯田蛇笏・水原秋桜子・山口晋子・
中村草田男・加藤秋邨・種田山頭火・金子兜太

あんずあまさうな 俳句の窓 森鷗外・夏目漱石・芥川龍之介・室生犀星・
久保田万太郎・佐藤春夫・吉屋信子・瀬戸内寂聴

言葉のi4 言葉の説明 言葉のバリエーション

9 小説(3)
ア 清兵衛と瓢箪 内田樹
感動を作れますか 評論の窓 久石譲
時間を作りますか 評論の窓 内山節

10 評論(4)
ア 世界中がハンバーガー 多木浩二
ネットとリアルのあいだ 志賀直哉
富嶽百景 太宰治

無痛化する社会の行方 森岡正博

「思われる」と「考える」 外山滋比古
評論の窓 評論の窓

表現 手紙を書く 拝啓 芥川龍之介様
発表する 私の好きなもの

10 評論(4)
ア ネットとリアルのあいだ 西垣通
「思われる」と「考える」 外山滋比古
無痛化する社会の行方 森岡正博

新 清兵衛と瓢箪 志賀直哉
感動を作れますか 評論の窓 太宰治

世界中がハンバーガー 多木浩二
ネットとリアルのあいだ 志賀直哉

新 無痛化する社会の行方 森岡正博
評論の窓 評論の窓

表現 手紙を書く 拝啓 芥川龍之介様
発表する 私の好きなもの

10 評論(4)
ア ネットとリアルのあいだ 西垣通
「思われる」と「考える」 外山滋比古
無痛化する社会の行方 森岡正博

表現 手紙を書く 拝啓 芥川龍之介様
発表する 私の好きなもの

10 評論(4)
ア ネットとリアルのあいだ 西垣通
「思われる」と「考える」 外山滋比古
無痛化する社会の行方 森岡正博

古典作品の代表的な箇所に、できるだけ多く触れることができるように、各作品の名場面をそろえました。

1 古文入門

- なぜ古文を学ぶのか
- 児のそら寝（宇治拾遺物語）
- 古文を読むために①歴史的仮名遣い
- 檢非違使忠明（宇治拾遺物語）
- 古文を読むために②文・文節・単語・品詞
- 古文の特徴
- 古語と現代語
- 五十音団

2 徒然草

- つれづれなるままに
- 奥山に猫またといふものありて
- ある人、弓射ることを習ふに
- 古文を読むために③助動詞
- かぐや姫の生ひ立ち
- かぐや姫の嘆き
- 月からの迎え（訳・江國香織）
- 古文を読むために④助詞 注意すべき言葉遣い
- かぐや姫の生ひ立ち
- かぐや姫の嘆き
- 月からの迎え（現代語訳）

3 竹取物語

- かぐや姫の生ひ立ち
- かぐや姫の嘆き
- 花は盛りに

4 伊勢物語

- 芥川 東下り 筒井筒
- 富士川 巴 坂落 能登殿最期
- 古文を読むために⑤敬語 音便
- 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集
- 自分のために詠まれた歌
- 古文を読むために⑥枕詞 序詞 掛詞 縁語 見立て 本歌取り
- 「平家物語」とは
- 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集
- 「自分のために詠まれた歌」

5 和歌

- 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集
- 「自分のために詠まれた歌」
- 古文を読むために⑦敬語 音便
- 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集
- 「自分のために詠まれた歌」

6 平家物語

- 上代・中古・中世の作品から二十六首を精選し、鑑賞しながら和歌の修辞を学ぶことをねらいとしました。小川洋子の万葉集への思いをつづった随想を収録しています。
- 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集
- 「自分のために詠まれた歌」

7 土佐日記

- 門出 帰京
- 古文を読むために⑧敬語 音便
- 土佐日記 日記文学という新しい文学様式を生み出した「土佐日記」を読み味わい、当時の人々の心情や考え方を学ぶことをねらいとしました。
- 富士川 巴 坂落 能登殿最期
- 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集
- 「自分のために詠まれた歌」

8 奥の細道

- 旅立ち 平泉 立石寺
- 古文を読むために⑨敬語 音便
- 奥の細道 最終単元として、近世の俳諧紀行文の代表作「奥の細道」を取り上げました。芭蕉の「旅と人生」「歴史と詩情」がない交ぜになつた世界を味わいます。
- 富士川 巴 坂落 能登殿最期
- 土佐日記 日記文学という新しい文学様式を生み出した「土佐日記」を読み味わい、当時の人々の心情や考え方を学ぶことをねらいとしました。



1 古文入門

冒頭で古文を学ぶ意義を考え、親しみやすい説話3編から導入します。

●児のそら寝（宇治拾遺物語）：児の思惑とは違う方向へ展開していく話のおもしろさを味わえる入門期の定番教材です。現代語訳を付し、歴史的仮名遣いにはカタカナでルビを振りました。

●檢非違使忠明（宇治拾遺物語）：忠明が、清水の舞台から部を脇に挟んで鳥のよろこびを味わえる入門期の定番教材です。現代語訳を付し、歴史的仮名遣いにはカタカナでルビを振りました。

●尼、地蔵を見奉ること（宇治拾遺物語）：信心深い尼の不思議な話をもとに、心に深く念じれば仏を見ることができるものだと説く。展開に驚きがある感動的な説話です。

●ある人、弓射ることを習ふに

●奥山に猫またといふものありて

●つれづれなるままに

●名を聞くより

- 漢詩のリズム（江南春）
- 春曉
- 春日
- 静夜思
- 江雪
- 山亭夏日
- 送_三元_一使_二安西
- 春望
- 八月十五日夜，禁中独直，對_一月憶_二元九
- *参考 日本漢詩
- 漢詩の手引き 漢和辞典の引き方
- 論語（十五章）
- *参考 儒家と道家

- 国語総合における漢文学習のまとめとして、陶潛のユートピア論「桃花源記」を学びます。
- 桃花源記